

横浜吉田中同窓会会報

発行人 横浜吉田中学校同窓会 発行日 平成31年2月25日

平成31年2月19日に母校にて当同窓会が後援する第4回落語鑑賞会が開催されました。当日会場となった体育館ではこの3月に卒業予定の3年生約120名が生徒の落語を楽しみました。今回は同窓会名誉会長の故桂歌丸師匠の5番目のお弟子さんにあたる桂枝太郎師匠と若手の三遊亭金かんさんの二人にご出演いただきました。



(舞台上に上がり団子の食べ方の稽古を受ける生徒)



初めに枝太郎師匠が『落語というもの』は豊臣秀吉が戦国の世が終わって世の中が太平になったとき、お伽衆をおいたことに始まること、扇子と手ぬぐいだけを使って一人で何人もの登場人物を演ずる日本独特の話芸であることと解説。続いてその扇子を使ってそばを食べる仕草と団子の食べ方を演じ、生徒さんを壇上に呼んで稽古をつけたりして会場の生徒さんと一体になって盛り上がりました。



そのあとの一席で枝太郎師匠は歌丸師匠のお弟子さんが必ず覚えるという『鶴』という与太郎噺をいくつもの小話を入れながら生徒さん達から笑いを取っていましたが、さすが、途中意味不明の笑いの場面もあって難渋されていたようでした。



前座で出演された若手落語家三遊亭金かんさんは借金とりを居留守をつかって断ろうとする与太郎噺を熱演。

約一時間の鑑賞会も落語を聴くのは初めてという生徒さんが多かったにもかかわらず笑いの連続でした。最後に枝太郎師匠から学校へ落語に関する記念グッズを贈られました。



(記念品を受ける金沢校長)

今年で4回目となる落語観賞会ですが、今回は生徒さんの間から要望があったと伺い、落語の魅力が生徒さん達に浸透していることは嬉しい限りです。昨年亡くなった桂歌丸師匠が吉田中学校の卒業生だったことが縁で始まったこの『落語を聴く会』ですが卒業される3年生の皆さんにはきっとよい思い出となることを願って止みません。

中村宣吉同窓会会長談